環境への取り組み

ミネベアミツミグループは、「ミネベアミツミグループ環境方針」のもと、環境マネジメントシステムを構築し、グループ全社にて地球環境保護および持続可能な社会の実現に貢献するように努めています。

環境方針について
こちらからご覧いただけます。

マテリアリティ 5

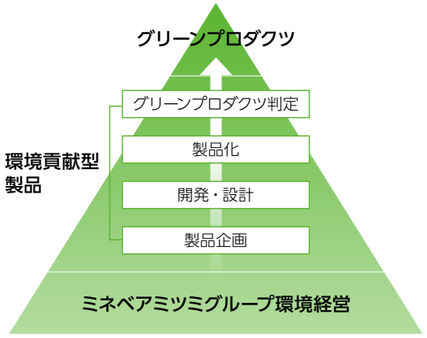
環境貢献型製品の創出

「グリーンプロダクツ制度」2年目を終えて

当社の製品はほぼ全てが小型で精密なダウンサイジングを可能とする環境貢献型製品であり、省エネルギー、省スペースに貢献しています。

当社の製品の中でも特に環境貢献に優れた製品を選定し、ミネベアミツミグリーンプロダクツとして認定する「グリーンプロダクツ制度」において、2020年3月期の対象となる製品を精査した結果、グリーンプロダクツ売上高比率は2019年3月期と比べて6.4%アップの85.8%になりました。企業活動そのものを通じて省エネルギーや地球環境改善に貢献する製品を創出し、2029年3月期には当社売上高に占めるグリーンプロダクツの比率を90%以上にまで高める計画です。

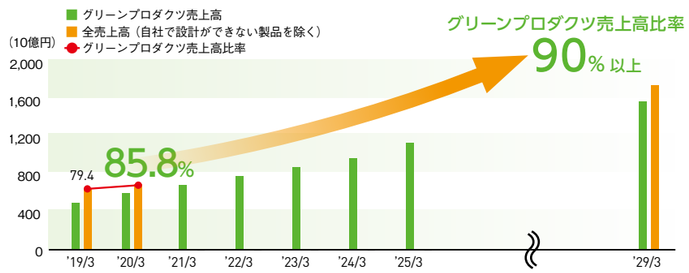
■ グリーンプロダクツ認定体系



■ グリーンプロダクツの判定基準

設計時	生産時	出荷時	使用時
・環境に配慮した材料の選定 ・省エネタイプ部品の選択 ・リサイクル・再利用材の使用 ・製品の廃棄に対する考慮 ・禁止物質不使用の確認	・電力の削減 ・原材料・副資材の削減 ・廃棄物の削減 ・化学物質の削減 ・水の削減	・環境に配慮した梱包材の使用 ・梱包材の再利用 ・物流の CO_2 低減	・消費電力の削減 ・小型化 ・軽量化 ・長寿命化

■ グリーンプロダクツ製品の売上目標



グリーンプロダクツ認定製品
（以下に紹介の製品は、グリーンプロダクツ認定製品の一部です。）

ミニチュアボールベアリング

AC アダプタ

スマートシティソリューション

スマートシティソリューションについて、
こちらで詳しくご覧いただけます。

■ 環境への取り組みハイライト

グリーンプロダクツ目標	CDPレーティング	
2029年3月期 売上高比率90%以上	気候変動2019 「B」 ウォーター2019 「A−」 を獲得	2020年8月 TCFD提言への賛同表明

環境負荷低減への取り組み

工場排水ゼロシステムの運用（タイ、中国）

当社グループには製品の加工工程で大量の水を使用する工場があり、排水の削減に取り組んでいます。工場で使用された水は、各国各地域の環境法令基準値以下まで浄化され、放流されますが、それでも地域周辺への環境影響はゼロとは言えません。そこで、当社グループでは水使用量の多いタイ、中国工場において、「工場排水ゼロシステム」を導入し、放流する工場排水とその環境影響のゼロ化及び、外部からの水購入量の削減に取り組んでいます。

タイ・バンパイン工場の雨水池と雨水再利用設備

廃棄プラスチック削減アクション（タイ）

No Plastic Bags プロジェクト

近年、海洋プラスチック問題が懸念されており、当社グループでは、積極的に廃棄プラスチックの削減に取り組んでいます。

タイ工場では、No Plastic Bags プロジェクトと題して2019年2月からプラスチックバッグを使用しない日を決め2019年2月～12月で5,447.29kg(3,704,154枚）のプラスチックバッグが削減されました。さらに2020年1月からは、プラスチックバッグを一切使用しない取り組みを始めています。

また、工場内にあるコーヒーショップでは、プラスチック製の蓋とストローは使用せず、蓋のない紙カップに変更されています。

TCFD提言への賛同表明

2020年8月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明し、今後、TCFDの提言に沿った情報開示・発信を行うとともに、持続可能な社会の実現に貢献すべく、取り組みを強化していきます。

ガバナンス

コーポレート・ガバナンスにおいて気候変動問題に関して以下の体制を確立

- ▶ 気候変動に対して責任を持つリスク管理委員会、環境マネジメント委員会は社長直下の組織として機能
- ▶ リスク管理委員会及び環境マネジメント委員会の決定事項は定期的に取締役会へ報告され、気候変動に関するリスクや機会についても取締役会議長の CEO が監視、監督責任を有する

リスク管理

全社的リスク管理プロセスに気候関連課題を統合

- ▶ 全社的リスク管理プロセスの様々なリスク要素の中に気候変動課題を統合

リスク管理プロセス概要

リスク・機会をバリューチェーン目線で調査 → 発生の可能性と影響の大きさを財務的インパクトも含めマテリアリティ分析 → 対応計画の策定と成果を取締役会へ定期的に報告

環境データの詳細は
左記からご覧いただけます。

戦略

戦略策定プロセスに気候変動問題を包含

気候変動に関連するリスクと機会をミネベアミツミのレジリエンスと成長戦略に考慮

〈リスク〉
物理的リスク対応：
災害の激甚化に伴う BCP の推進
移行的リスク対応：
規制強化やカーボンプライシングシステムへ備えたエネルギー効率、再エネ導入による CO_2 削減

〈機会〉
気候変動に伴う市場の変化等による機会対応：
製品に関連する戦略を、次の 10 年を見据えた「ミネベアミツミの次の 10 年」という成長戦略で推進

〈シナリオ分析〉
気候変動によってミネベアミツミの事業にどのような影響が及ぼされるのかを考察するために、4℃シナリオと2℃を十分に下回るシナリオによって、2030 年、2050 年という時間的視点にたったシナリオ分析を現在実施しており、戦略の有効性を高める

指標と目標

【気候変動に関連する指標と目標】

- ▶ Scope 1と2 について、2030 年・2050 年目標の策定を検討中
  （目標は、脱炭素社会への移行の動向に鑑み、SBT 承認水準を念頭に検討）
- ▶再生可能エネルギーの導入目標の策定を検討中